

お客様各位

## FusionPlace 1.7.0 リリースのご案内

2012年8月22日

有限会社ウォーターマーク・アプリケーションズ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本日、FusionPlace の新バージョン「1.7.0」をリリース致しましたことをお知らせ申し上げます。

### 記

#### 1. ご提供方法

弊社 Web サイトの「ダウンロード」ページからソフトウェアをダウンロード頂きます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。

#### 2. バージョン 1.7 系列の位置づけ

バージョン 1.7 系列は、バージョン 1 系統における「安定版」と位置付けております。すなわち、バージョン 1 系統においては、今後、原則として新機能の追加は行わず、不具合の修正・新オペレーティングシステム等への対応といった比較的マイナーな修正のみ実施して参ります。修正版のリリースが必要な場合は 1.7.1、1.7.2 といったバージョン番号を付してリリース致します。

新機能の追加は、今後リリース予定のバージョン 2 系統にて行います。こちらもご利用ください。

#### 3. インストール方法

インストール手続き自体は旧バージョン(1.6.0) と変わりませんが、旧バージョンをすでにお使いの場合は、旧版のソフトウェアをアンインストールして頂く必要があります。詳細は、インストーラに同梱されている 1.7.0 版のユーザマニュアル (fusionplace-usermanual.chm)の以下の項目をご参照下さい：

## 「FusionPlace をセットアップする」

### > 「02. セットアップ手続き」

### > 「04. FusionPlace をバージョンアップする際の手続き」

今まで 1.6.0 以前のバージョンをお使いの場合、インストール後、ユーザが FusionPlace にログインする最初のタイミングで、データベースが 1.7.0 向けのレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の三点にご留意下さい。

- (ア) データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。
- (イ) 1.7.0 向けに移行されたデータベースファイル群をもとに戻すことはできません。移行前にデータベースファイル群をフォルダごとバックアップしておくことをお勧めします。
- (ウ) 移行によってデータベースファイルの構成が変更され、移行時およびその後の運用時において、データベースフォルダ中に多数のサブフォルダとファイルが作成されることがあります。これらはデータベースの一部ですので、削除しないで下さい。

## 4. 機能追加・改善点

当バージョンでの、主な機能追加・改善点は以下の通りです。

### (ア) Excel-Link での「テンプレート処理機能」の改善

テンプレート処理機能は、ひとつの処理単位（たとえば、店舗と商品部門の組み合わせひとつ）について、Excel シート上で計算モデルを定義しておいて、その計算モデルをすべての処理単位に適用するものです。

テンプレート処理はバージョン 1.6.0 で導入されましたが、1.7.0 では、実業務への適用を踏まえたフィードバックをお受けして、以下の点を改善しました。

- ① テンプレート処理によって作成される表の行数が多い場合の処理速度を大幅に改善しました（一例として 6000 行超書き出すケースにおいて、1.6.0 で 70 秒程度かかっていたところ、1.7.0 では 15 秒程度となっています）。
- ② テンプレート処理対象シートで、テンプレート範囲外にもリンク領域を設けることが許されるようにしました。

- ③ テンプレート処理の設定で、繰返しキーの列がテンプレート範囲と交差し  
てもかまわないようにしました（バージョン 1.6.0 では、交差することは  
許されませんでした）。
- ④ テンプレート範囲内に、処理単位ごとの連番が振られる「連番セル」を設  
けることができるようにしました。
- ⑤ 結果表示領域にオートフィルタを自動設定するオプションを設けました。

#### (イ) Excel-link のその他の改善

- ① データ反映処理において、反映対象シートセルの値が元帳セルのデータタ  
イプに照らして受け入れられない値であった場合（例えば数値セルなのに  
文字列が入力されていた場合）にエラー表示するオプションを設けました。  
このオプションを指定しなければ、データ反映後の当該元帳セル値は、従  
来通りデータタイプごとの初期値（ゼロまたは空白）となります。
- ② データ反映処理において、シート上のセルに設定されている「入力規則」  
に照らして反映対象値をチェックするオプションを設けました。  
なお、テンプレート処理対象シートにおいてこのオプションを適用する場  
合、結果表示領域に入力規則をコピーする旨が「シート処理要領」にて指  
定されているならば、チェックに先駆けて、結果表示範囲の各セルの入力  
規則がテンプレート範囲からコピーし直されます（入力者が結果表示範囲  
の入力規則を壊してしまうケースへの対応）。
- ③ データ取得処理において、取得したセル値が日付として解釈可能な文字列  
である場合には、文字列ではなく日付としてシートセルに貼り付けるよう  
にしました。
- ④ リンク領域のセルに論理値または列挙値を表示する際に、そのラベルでな  
く名称を表示するオプションを設けました（反映時も、セル値を名称と解  
釈して元帳に適切に反映します）。

- ⑤ 取得した値がゼロ値だった場合、シートセルにゼロではなく空白を設定するオプションを設けました（ゼロ値セルが多量に存在する場合、処理が高速化されます）。
- ⑥ サーバを停止した後に Excel-Link ログイン済みの状態の Excel を終了しようとする、数十秒程度待たされる問題を修正しました。

#### (ウ) Excel-Link 以外の改善

- ① データインポート処理で、変換テーブルの「#IGNORE」指定によって読み飛ばし対象とされた行については、他に変換エラーがあってもエラーとみなさないようにしました。
- ② フル機能版フォームで、フロー勘定の期末残高とバランス勘定の当期純増減を書込み可能にする旨の指定を可能としました。通常、フロー勘定の期末残高とバランス勘定の当期純増減は書き込み不可ですが、当項目を ON とすると、そのフォームからは書き込み可となります。基幹システムからフロー勘定とバランス勘定のデータを一括してインポートするときには、各期間の残高値を取り込むのが便利です。当項目を ON とすることにより、バランス勘定・フロー勘定の区別なく期末残高を取り込むことが可能となります（当期純増減は期末残高をもとに自動計算されます）。
- ③ ディメンションメンバのインポート処理において、従来から使用可能だった追加・更新コマンド「ADD\_OR\_UPDATE\_MEMBER」に加え、更新専用コマンド「UPDATE\_MEMBER」を使用できるようになりました。  
指定されたラベルを持つメンバが存在しない場合、  
「ADD\_OR\_UPDATE\_MEMBER」コマンドでは新たにそのラベルを持つメンバが追加されますが、「UPDATE\_MEMBER」コマンドではエラーとなります。
- ④ テキスト式において、ディメンションメンバの上位メンバを取得するメソッド(ancestorメソッド)を設けました。同メソッドでは、取得したい上位メンバを特定する条件としてプロパティ値を指定することが可能です。

- ⑤ テキスト式の「セル範囲」オブジェクトに「Text」メソッドを追加しました。同メソッドを用いると、セル範囲の左上隅のセルの表示内容を文字列値として取得することができます。
- ⑥ テキスト式の「セル範囲」オブジェクトに「is\_empty」メソッドを追加しました。同メソッドを用いると、セル範囲のすべてのセルの値が「空値」であるか、すなわち数値の場合ゼロ、以外の場合空白であるかを判定することができます。
- ⑦ FusionPlace マネージャのラベル入力欄で、かな漢字変換を自動的にオフにするとともに、小文字が入力されると大文字に変換されるようにしました。
- ⑧ 元帳版キー中にピリオドを使えるようになりました。
- ⑨ データインポート処理で、使用する変換テーブルの行数が著しく多く（数万件規模）かつ変換エラーが多発するケースにおいて、処理に長い時間がかかっていた点を修正しました。
- ⑩ 1ギガバイトのメモリを割り当てて FusionPlace マネージャ/ブラウザを起動するメニューを追加しました（従来の FusionPlace メニューの最下部にリンクがあります）。  
⇒ 従来のメニューから起動すると、256メガバイトのメモリが割り当てられます。メンバ数数万件を超える巨大なディメンションを編集する場合など、256メガバイトでは不足することがあります。
- ⑪ サポート環境に Windows Small Business Server 2011 Essentials を追加しました（1.6.0でも事実上動作しますが、1.7.0で正式にサポート環境に加えました）。
- ⑫ サポート環境に Java 7 を追加しました（1.6.0でも、後述する不具合事項⑦の事象を除いて事実上動作しますが、1.7.0で正式にサポート環境に加えました）。

## 5. 解決した不具合事項

当バージョンで解決した不具合事項は以下の通りです。

- ① Excel-Link の FusionPlace メニューのショートカットを P から U に変更しました（Excel の値貼り付けボタンを表示した場合、そのボタンのショートカットと重なってしまうため）。
- ② Excel-Link のテンプレート処理で、テンプレート範囲に含まれるリンク領域において、列に配されたディメンションがあるにも拘らず有効な列キーを指定された列が無い場合にエラーが発生するという問題に対処しました。
- ③ フォームで、セル範囲に元帳が指定されていない場合、必須ディメンション以外のディメンションのカレントメンバを取得できない（従ってそのラベル・名称を表示できない）という問題に対処しました。
- ④ テキスト式の「セル範囲参照」オブジェクトの Value メソッドが常に文字列を返すようになっていましたが、セルの値のデータタイプに応じて、適切な値（数値・文字列値）を返すように修正しました。
- ⑤ FusionPlace マネージャで、極めて大きな（数万件規模の）変換テーブルを更新する際、メモリ不足によるエラーが発生して更新できない場合があった点を修正しました（従来版でも更新を一部ずつ行うことはできます）。
- ⑥ FusionPlace マネージャのディメンション編集画面＞メンバパネルで、プロパティ値編集集中に異なるメンバをクリックすると、そのメンバのそのプロパティ値が空白になってしまう問題を修正しました。業務責任単位編集画面のアクセス許可タイプと責任範囲指定キーについても同様です。
- ⑦ Java 7 で使用した場合に一部のエラーメッセージが表示されない（※）という不具合に対処しました。

（※）例えば FusionPlace マネージャのディメンション画面のメンバパネル上で、「チェック」ボタンをクリックした場合、チェック結果を通知するメッセージが表示されません。

以上